小学生(低)礼拝5月②

聖書：天地創造と神様の夢（天地創造）

　きょうは、聖書にかかれている、「天地創造」のお話しをしながら、神様の夢についてお話しします。

　みなさんは「聖書」をしっていますか？（持っている人？よんだことある人？）聖書はとても分厚く、難しい本です。でも私たちにとって、とても大切な本です。なぜなら、聖書には神様について書かれているからです。

その聖書の一番はじめに書かれている内容が、今日皆さんにお話をする「天地創造」というお話です。聖書には、「はじめに神は天と地とを創造された」と書いてあります。

天は、形のない見えない世界のこと、霊界のことです。地は、地球のことです。神様がどのように、この世界をつくったのかをこれから、おはなしします。

まず第一日目です。

神様は「光あれ」と言われました。「神はその光を見て、良しとされた」とあります。

これは、神様が光を創造されて、とても喜ばれたということです。神様は暗い宇宙の中で、最初に光を造られたのです。まず初めに、光の大爆発が起きました。ものすごい光のエネルギーが放たれたのです。この光の大爆発のことを「ビッグバン」と言います。

第二日目は、「神はおおぞらを造って、おおぞらの下の水とおおぞらの上の水とを分けられた」とあります。「おおぞら」と言うのは「空気」のことです。そして、「水」を創造されました。このように神様は生き物や人間が生きるために必要な、「空気と水」を造られました。

第三日目に、神様は、「陸と海」を創造されました。さらに、神様は陸地に草や木、花などの植物を造ってくださいました。世界中に、いろいろな木や美しい花が咲きます。

このように神様はいろいろな植物を創造されました。

第四日目に、神様はもう一度「光となれ」と言われました。宇宙に、「太陽と月と星」を造られたのです。宇宙がどれくらい広いかと言うと、小さな星が集まった銀河系宇宙（小宇宙）がたくさんあって、今でも広がり続けています。神様は絶えず働いておられ、生きておられるということです。

第五日目に、「海の獣と、川や海の魚、翼のある鳥」を創造されました。海の獣というのは、皮膚に毛が生えている動物です。鯨やアシカ、オットセイ、アザラシなどです。

そして、川や海にいる魚を造られました。また、空を飛ぶ鳥たちもたくさん造られました。

第六日目は、「家畜と、這うものと、地の獣」とを造られました。犬、猫、ゾウ、ライオンなどの動物です。

最後に、神様の形に似せて、「人間」をお造りになりました。神様は目には見えませんが、もし姿を持って現れるとしたら、皆さんのような姿で現れるということです。

このように、神様は万物をつくり、人間をつくって、最後に

「はなはだ良かった」と言われました。「はなはだ」は「とっても」という意味です。神様は万物をつくり、人間をつくって、とっても喜んだのです。

そして、神様は人間に「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めよ」と言われました。

これは、人間が、神様の愛を受けながら成長して、この植物や動物を愛して、この世界の主人になってほしい、という神様の人間に対する、願いであり夢なのです。

このように、神様は、すべての万物をわたしたち人間のために造ってくださったのです。光も、空気も、水も、植物も、動物も、全部、私たち人間の喜びのためにつくってくださったのです。そして、なによりも、皆さんは、神様の似姿として創造された神様の子どもです。

神様と万物に感謝しながら、大きく成長していきましょう。